



土地区画整理事業により整備された町並み



町内の中心部を走る道路

まちづくり

快適で美しいまち 景観を大切にするまち

平成二十二年一月、高鍋町は、景観行政団体になりました。景観行政団体になると景観法に基づき、景観計画を策定することが出来ます。現在、景観計画の策定に着手しており、今後は、景観まちづくりを推進し、町を取り巻く海・山・川などの自然や、歴史・文化といった町の特性を生かした個性ある景観の形成を図っていきます。また、美しいだけでなく、安全性や機能性などの基本的な性能を持ち合わせた快適で美しい住環境

を整備してまいります。

通りの再生に向けた取り組みの始まり

現在、宮崎県において蚊口高月線の道路整備を行っています。この道路は高鍋町の中心部に位置する大変重要な幹線道路です。県と町に加え、地権者でつくる「たかなべ中央とおり会」において、歩道の整備や街路樹の選定などのワークショップを行っています。

この街路事業は、単なる道路整備ではなく、中心市街地の活性化や再生に貢献する重要な事業です。

町民が快適に暮らしていくために



上下水道

町内の上水道は人口単位で、97%以上の普及率となっています。公共下水道の平成22年度末の普及率は、世帯数率で32%。浄化槽も単独浄化槽から合併浄化槽に替わりつつあり、世帯数率で約20%です。町内には設備の整った浄化センターがあり、1日平均1,900トン进行处理しています。

ゴミ処理について

高鍋町はゴミの減量化や再資源化を目指し、出前講座などを活用しながら取り組みを推進しています。また町民の皆さんからはゴミに関するお問い合わせが多く、意識の高さを感じます。

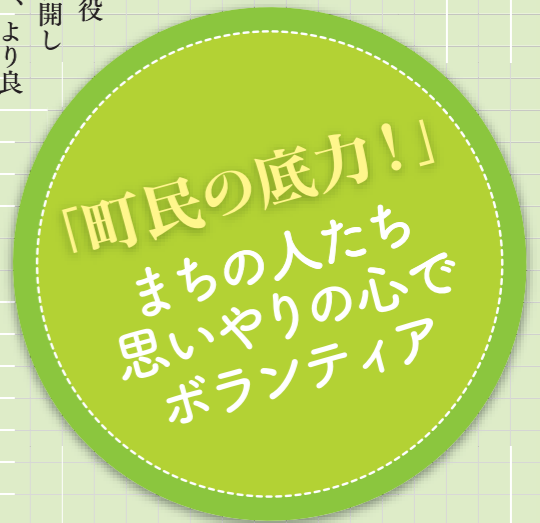


持田団地

「町営住宅」
町内には八カ所、五〇六戸の町営住宅があります。現在町では、高齢者、障がい者も安心して、安全に快適に暮らすことのできる環境整備を目指しています。
町の東部に位置する持田団地では、平成十七年度に簡易耐火平屋及び二階建て一二四戸の建て替えに着手し、平成二十一年度に事業を完了しました。新たに建てられた住宅は、住居内がすべてバリアフリーとなっております。三階建てと五階建ての住宅にはエレベーターも完備されています。
また、隣近所の交流、高齢者の見守りにも配慮し、裏からも気軽に声かけられる長屋の良さを取り入れた造りになっています。

地域

域を心と心の通じ合う住みやすいところにしてしようと、率先してボランティア活動をされている人たちが高鍋には大勢います。高鍋町も町民との協働を推進し、「町民が主役のまちづくり」を展開しています。ここでは、より良いまちづくりを目指して活動している人たちを紹介します。



「高鍋点訳サークル」 「おすす」

視覚障がい者の皆さんへ多くの情報を提供したい!
サークルが発足したのは平成7年で、現在は32人の会員がいます。活動は、町の広報紙や小説などの点訳と点字印刷、視覚障がい者のパソコン教室、点訳ボランティア養成講座などの開催です。パソコン教室は視覚障がい者の情報提供や、バリアフリーの一助になればとの思いを込めて行っています。また、児湯郡内や西都市の点訳ボランティア養成講座に講師を派遣するなど、広く点訳者の育成に努めています。



「高鍋手話サークル」 「もくせい」

聴覚障がい者の皆さんとふれあいたい!
サークルが発足したのは昭和55年で、現在は15人の会員がいます。活動は町内の各種イベントでの手話通訳や、週に1回行う手話講習会の開催です。1人でも多く手話を使える人が増えるよう、講習会で繰り返し練習を重ねています。



「高鍋城灯籠まつり」 「実行委員会」

忙しいながらも誇りをもって活動しています!
灯籠まつりの準備は4月から始まるので、およそ7カ月かけて本番に臨みます。灯籠に使う竹を山から切り出して、それを加工する力仕事もあり、大勢の町民の皆さんや航空自衛隊新田原基地の方々にも協力をいただいています。まつりが近づいてくると、物産展やステージの準備、伝統芸能の打ち合わせなどに追われ、当日は点灯式(開会式)やイベントの開催、地場産品の販売など目の回るような忙しさです。毎年無事にやってくるのも、町一番のイベントである灯籠まつりを成功させようという町民の皆さんの協力のおかげです。



「高鍋町地域婦人 連絡協議会」

子どもさんを一時お預かりします!
現在、町内の地域婦人連絡協議会のメンバーは130人。その中の約30人が、子どもたちを一時的に預かるボランティアを行っています。最初は東小学校と西小学校の参観日の託児として始めたもので、現在では、参観日のほか健康診断などでも依頼があったときに託児を行っています。



「高鍋町持田地域 まちづくり協議会」

地元の海岸をきれいにしよう!
持田地域まちづくり協議会は、町営持田団地の建設に合わせて、持田地域の活性化を目指し発足しました。活動の1つに、地元の海岸である鳴野浜の清掃があります。ゴミ拾いは、協議会をはじめ、町内から多くのボランティアが参加して、毎年実施されます。1時間もすると、軽トラック数台がいっぱいになり、後はきれいな海岸に戻ります。